

サンゴの日イベント報告

”サンゴの日”の3月5日に「未来とサンゴプロジェクト」に協賛する企業とソフトバンク社員を含めた多数のボランティアとともに、イベントが実施されました。
協賛する企業の協賛金や、募金プラットフォーム「つながる募金」で集まった募金のご支援により、60本のサンゴの苗が恩納村の海に植え付けられました。

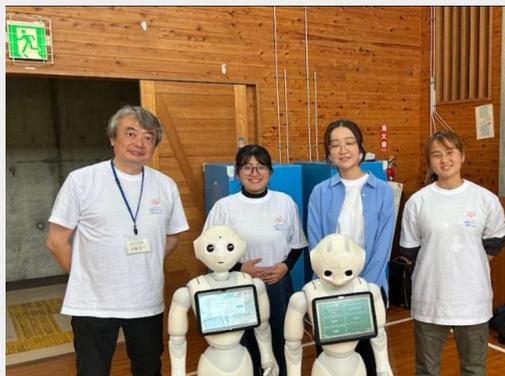
ボランティアとともにサンゴの苗を植え付け

海中でドリルを使ったサンゴの苗の植え付けの様子



それに先立って産学連携に関する協定を締結している、公立大学法人名桜大学の学生らが中心となり、人型ロボット「Pepper」を使った環境教育も実施され、美しい海を守るために環境について考えるきっかけとなりました。

名桜大学の学生による環境学習の様子



また、当日恩納村で開催された「Save The Coralプロジェクト」では、ソフトバンク社員約40名やプロジェクトに協賛する企業4社の方々も多数ご参加いただき、ビーチクリーンや赤土流出を減らすための植樹が行われました。参加メンバーたちは、グループ企業であるZOZOの協力により制作した「未来とサンゴプロジェクト」オリジナルTシャツを着用して、環境保全の活動をするとともに参加者間での交流を深めました。

ビーチクリーンと植樹の様子



2019年に立ち上がった「未来とサンゴプロジェクト」は今年で5年目を迎えます。
これからも、海洋環境の保全のために、多数の企業・団体と共に、美しい地球の未来を守り、次世代に受け継いでいくために活動を続けてまいります。